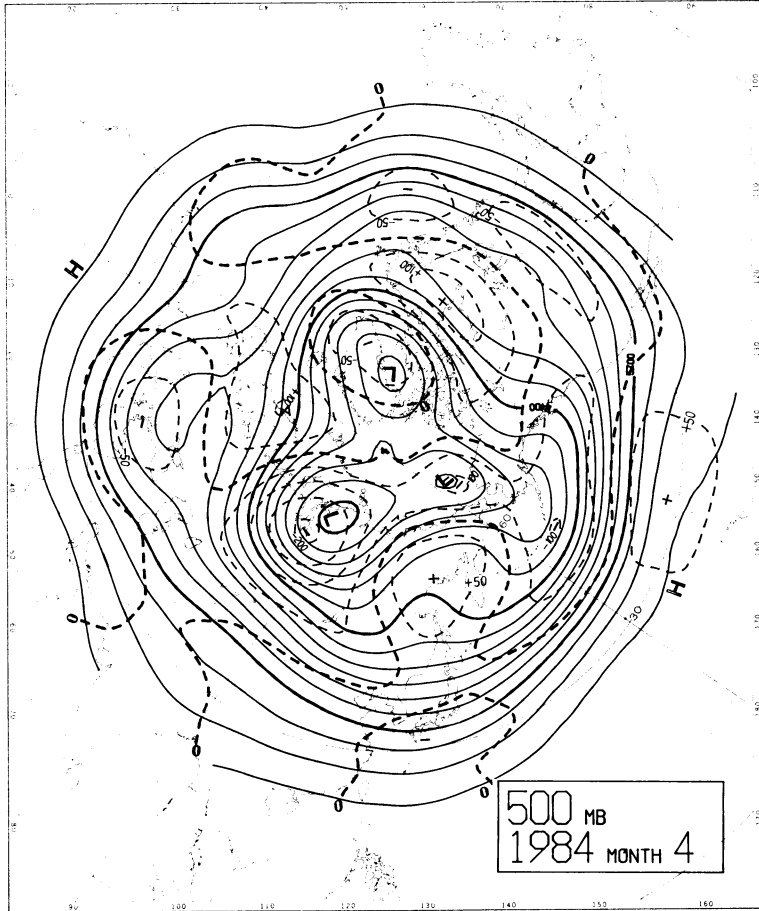


月平均500mb天気図. 1984年4月.

(破線は平年からの偏差. 単位 m)

**オホーツク海方面にブロッキング高気圧**

500 mb 天気図上の極うずは3分割して、中央シベリア・ベーリング海峡及びグリーンランド方面にトラフが発達し、高緯度を中心に3波数型の循環が形成された。北半球の東西指数は、2月以来南北流型が卓越する低指数循環が続いている。北太平洋高気圧は、2月以降引き続き日付変更線の東側よりで強まっている。

日本付近の環流の特徴は、偏西風が南北に分流し、オホーツク海～カムチャッカ半島付近にしばしばブロッキング高気圧が形成されたことである。そのため、

日本付近には寒気が流入しやすい状態が続いた。月平均地上気圧天気図では、ブロッキング高気圧に対応してオホーツク海高気圧が北日本をおおうように広がり、北海道では気温は低いが日照の多い晴冷の天候になり、東北から関東地方にかけては北東風のため低温になった。特に、東北・関東地方の太平洋沿岸では、例年になく親潮が南下していたこともあり、この北東気流のため月平均気温が平年より2～4℃も低い冷春となった。

(気象庁長期予報課 栗原弘一)